

パークシティ金沢八景 震災マニュアル簡易版 (全居住者向け)



2023年1月制定
2025年1月改正

パークシティ金沢八景管理組合・自治会

2023年1月版からの主な変更点：

- 震度と津波による影響と対応方法を追加
- 地震発生時の避難先の一部変更
- 地震発生後の水道・ガス・電気・排水などの点検
- 非常用トイレの作り方を追加
- 家具転倒防止の一部修正

ご一読の上、見やすい場所に保管をお願いいたします。以前お配りしたA4サイズマグネットケースをお持ちの方は、そちらに保管ください。

重要ポイント

想定震度と津波

房総半島南端沖を震源地とする元禄関東地震タイプの場合、

- ・ 震度：地上で震度6強、高層階で震度7が想定されます（東日本大震災で私たちが経験した揺れ「震度4」の10～17倍の揺れ）（3ページ参照）
- ・ 津波：浸水深さ30cm～1m。最短で「約1分」で最大波が平潟湾に到達。（1階住戸の床下高さは1.1m）（4ページ参照）

情報入手と緊急連絡

- ・ もし津波浸水すると、管理センターの火災監視と一斉放送ができなくなります。居住者それぞれが停電時でも津波情報が入手できるよう、防災ラジオ等とその充電手段を用意しておきましょう。
- ・ 震災直後は固定電話・携帯電話ともに繋がりにくくなります。また、光電話や電源を要する電話機は停電時に使用できません。安否確認、情報共有、初期消火、避難など近隣同士で協力し合うのを基本とします。

避難

- ・ 大地震が発生したら、在宅避難・垂直避難を基本とします。
- ・ 1階の居住者は、念のため、近隣居住者にも呼び掛けつつ階段の3階以上に速やかに避難。
- ・ 延焼の恐れがある住戸は延焼の恐れのない隣の階段に避難。ただしその際津波浸水の恐れがある場合は、バルコニーの隔壁板を蹴破って隣の安全なバルコニーに避難。（4ページ参照）

排水禁止と非常用トイレ

排水管が損傷した場合、あるいは排水管が大丈夫なことが確認されるまでの間、水洗トイレほか一切の排水が禁止されます。（7ページ参照）

自宅トイレを非常用トイレにする方法（8ページ参照）

- ・ 便器カバー用ポリ袋（45リットルのゴミ袋）を便座の下に被せ、粘着テープで固定。
- ・ 排泄物用ポリ袋（45リットルの不透明なゴミ袋、）を便座に被せる。
- ・ 排泄物用ポリ袋に凝固剤を小さじ半分～一杯程度投入。
- ・ 防臭のため、縛った排泄物用ポリ袋を防臭BOS袋に入れて保管。
- ・ 適宜、消臭剤／消臭スプレーで消臭。

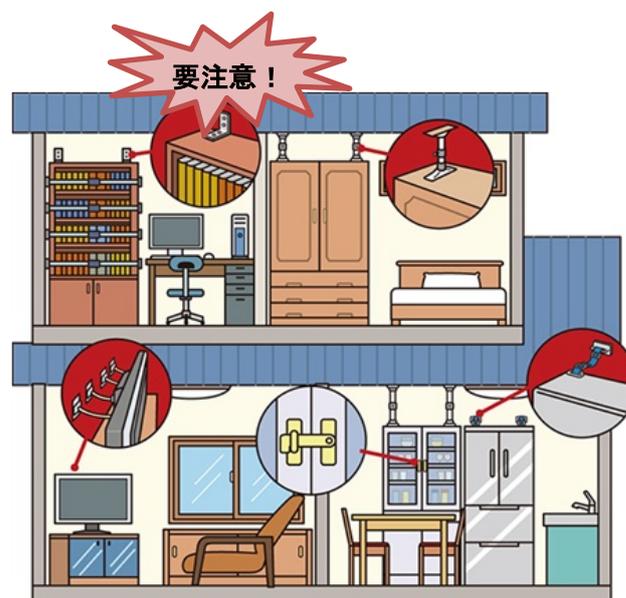
家具転倒防止

突っ張り棒

家具転倒防止のために、家具と天井の間に取り付ける突っ張り棒（伸縮棒）。

和室とキッチンの下がり天井とダクトは強度がないため、効きません。

家具と天井の間を埋めるように、空の段ボール箱を置くのも有効です。



転倒防止金具

仕切り壁には家具や壁をL字金具でネジ止め。

金具などを建物のコンクリート部分にねじ止めすることは禁止です。壁と家具をそれぞれ強力に接着する粘着型器具と他の転倒防止器具を組み合わせましょう。

家具転倒防止板・マット

家具の下に敷くタイプ。これ単独では効果が少ないが、突っ張り棒など他の方法と組み合わせるとよい。

家具の転倒防止は、リフォームの際などに工務店に相談するのもよいでしょう。

ガラス飛散防止

・バルコニー側サッシのガラス戸、食器棚・飾り棚のガラス戸にガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。

・吊り下げ型照明器具をお使いの場合は、天井貼付け型照明器具に買い替えましょう。

地震発生
(震度5強以上)

避難方法

① 先ず

(1) 身の安全をはかる

次に

(2) 出火防止（火気の始末、ブレーカーを切る）、初期消火

(3) 近接住戸（向かい・上下階）の救援、初期消火協力

(4) 津波情報、近隣住戸火災有無・延焼危険性の確認

(5) 安否確認ステッカーの貼り出し

② 避難を要する住戸は

(1) 火災なく津波来襲の可能性あり⇒3階以上へ避難！

(2) 津波なく火災延焼の場合⇒階下⇒その後対策本部が指示する場所

(3) 津波と延焼両方の危険あり⇒火元を確認し、火元から遠い階段の

3階以上へ避難！※

※津波で隣の階段に避難できない、又は火災で階段が使えない場合は、

南側バルコニーの隔壁板を壊し、隣りの安全なバルコニーに避難。

③ 延焼・津波来襲の危険がなくなったら一旦帰宅

エレベーター

地震発生
(震度5強以上)

エレベーターに乗車
している場合



行き先ボタンを押し、最初に着床した階で降りて避難。自動的に最寄り階に着床した場合は、すぐに降りて避難。

万が一、閉じ込められた場合は、非常用ボタンや携帯電話で助けを呼ぶ。

◎地震発生後にエレベーターが動いている場合も、余震などで停止する場合がありますのでエレベーターには乗らず、階段で避難してください。

◎エレベーターが自動復旧しない場合は、東芝エレベータ社員による復旧まで停止となります。

安否確認ステッカー

地震や火災などで避難する場合、安否を確認できるステッカーを住戸の玄関扉に貼ってください。

配慮者・避難行動要支援者がいる場合はその旨を通信欄に記載してください。

- 無事です(在室中)
- 避難完了しました

通信欄(避難場所)

パークシティ金沢八景

水道・ガス・電気

地震発生
(震度5強以上)

水道

水漏れを確認

すぐに管理センターへ連絡

※管理センター所員による作業

ポンプの停止。漏水した箇所の玄関1階SK室内ピット先の水道立管バルブを閉める。

破損した箇所の水道を停止することにより、被害が大きくなりないようにします。
水道管は上から下までつながっていますので、1カ所で水漏れを確認してバルブを閉めると、当該玄関の住戸はすべて断水となります。**管理センターからの指示を待ちましょう。**

各戸でできること

住戸内の蛇口をすべて締めた後、水道メーターがまわっていると『水漏れ』
→『水漏れ』の場合は、玄関前メーターボックス内の水道元栓を閉める。

ガス

震度5強相当以上の揺れで自動的にストップ

すべてのガス器具を止めた後、玄関外のガスメーターをご自身で復旧させる。

電気

停電発生後

復旧した後の火災などを防ぐため、家電製品の電源をコンセントから抜く。避難する場合はブレーカーを落とす。
使用の際は器具に異常がないか確認してからブレーカーを上げる。

1階玄関のオートロックも停止するため、ドアが解放状態となります。安全機能が損なわれますので、各住戸での防犯が必要となります。



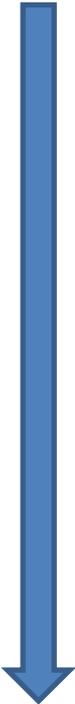
排水・トイレ

災害によって、排水管が破損している恐れがあります。汚水の拡散によって衛生環境が悪化することを防ぐため、水を流さないでください。



各戸でできること

- ① 災害時に使用するトイレ用品の準備。
非常用トイレ等を使用し、尿尿等は袋に入れて消臭剤をかけて密封し、バルコニーで保管する。
- ② 生ごみなども尿尿と同様に、各戸のバルコニーで保管する。
(ごみ置場は使用できません。)
- ③ トイレ等の排水縦管スペースの点検口と、台所シンク下にある床下の点検口を調べ、異常があれば管理センターに通報する。



管理組合でできること

- ① マンホールトイレの設置。
マンホールの上に災害用トイレ・トイレテントの設置。宮川から水をくみ上げて排水。
- ② 防臭BOS袋（臭いの漏れにくいビニール袋）の配布。※数に限りがあります。

排水管破損が分かった場合、排水しないよう水道立管バルブを閉めるので断水します

【携帯トイレを準備する】

● 携帯トイレ



※携帯トイレには、吸水シートが入ったタイプや凝固剤を入れるタイプ等があります。

〈節約した使い方も覚えておくと有効です!〉

大便…1人1日1回、1回ごとに携帯トイレを交換

小便…1人1日3回、3回ごとに携帯トイレを交換

※節約した使い方の場合、1人1日2枚で済みます。

01

便器カバー(青)を
便器にかぶせ
便座をおろし固定



02

便座の上
に汚物袋(黒)をかぶせ
凝固剤を入れる



03

排泄後、汚物袋(黒)を
取り出し、口をむすぶ



04

防臭袋BOS(白)に
汚物袋(黒)を入れ
袋の口をねじり
しっかり結ぶ



添付1b 「金沢区防災マップ」から抜粋

防災用品の準備

いざというときのために、家での備蓄、また避難するときにはすぐ持ち出せるように非常持ち出し袋を用意しておきましょう。

家での備え……………食糧・水・生活用品等は最低3日分の蓄えが必要です

■ 食糧



乾パン



アルファ米・レトルト食品



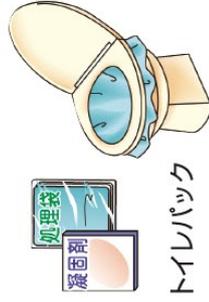
缶詰

■ 水

1人分=1日3リットル×3日分



■ トイレパック・燃料等



トイレパック

コンロ・ガスボンベ



非常持ち出し品の例……………すぐに持ち出せるようにリュックなどにに入れておきましょう



■ 1人に1つ用意して、ちきすぐに出せる場所に置きましよう。



常備薬

現金

預金通帳

ナイフ

飲料水

食糧

身分証明のコピー

懐中電灯

印鑑

ビニール袋

ナイフ

タオル

着替え一式

救急セット

筆記用具

MEMO

携帯ラジオ

薬手帳

ロープ

軍手

電池

調理用ラップ

生理用品

ティッシュ

防災情報Eメールの登録

あなたの携帯電話に防災情報が届きます！ 今すぐ登録を!!

■ 配信情報

- 1 : 地震震度情報
- 2 : 津波情報
- 3 : 気象警報・注意報
- 4 : 河川水位情報
- 5 : 土砂災害警戒情報
- 6 : 横浜市からの緊急なお知らせ
- 7 : 天気予報など



■ 登録手順

下の二次元コードを携帯電話のバーコードリーダーで読み取るか、宛先に entry-yokohama@bousai-mail.jp と入力した後、メールを送信します。

※件名・本文は空欄のままです。



災害時の安否確認

災害時には、安否確認にはNTTの災害用伝言ダイヤルや携帯電話の災害用伝言板サービスを利用することができます。

NTT 災害用伝言ダイヤル「1711」



※被災地内の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

携帯電話 災害用伝言板サービス

携帯電話やPHSからも、安否情報の登録や確認をすることができます。それぞれの「トップメニュー」から「災害用伝言板」を選択してください。

NTT ドコモ	http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi
au by KDDI	http://dengon.ezweb.ne.jp
ソフトバンクモバイル	http://dengon.softbank.ne.jp
イー・モバイル	http://dengon.emnet.ne.jp
ウィルコム (他社携帯からのアクセス)	http://dengon.willcom-inc.com
(ウィルコムからのアクセス)	http://dengon.clubh.ne.jp

添付 8

パークシティ内外の避難先

<一時（いつとき）集合場所>

- ・ 候補としては管理センター（非常電源が使えて情報収集しやすい）に近いA・B棟間、C・D棟間広場だが、津波・火災等の状況に応じて、在宅または各棟の3階以上に留まってもらう。
- ・ 状況を把握・判断するための集合場所。

<待避所>

- ・ 候補としては管理センター1階の和室、B棟プレイルーム
- ・ けが人、介護を要する人が休養できる場所。

<地域防災拠点>

- ・ 八景小学校
- ・ 床上浸水・延焼した住民の避難生活場所。備蓄倉庫・救護所。

<広域避難場所>

- ・ 横浜市立大学金沢八景キャンパス
- ・ 広域で大規模な火災から避難する場所。大規模火災が発生すると熱風により避難が困難となるため、広く・類焼から避難できる場所として指定される。

<福祉避難所（特別避難場所）>

- ・ 横浜市泥亀地域ケアプラザ、晴嵐かなざわほか
- ・ 高齢者、障害児・者、妊産婦、乳幼児などの要援護者のうち、地域防災拠点での避難生活が難しいと判断された方を受け入れるための二次的な避難所。専門職（保健師）などが判断。

出典：横浜市金沢区の福祉避難所（特別避難場所）

https://www.city.yokohama.lg.jp/kanazawa/kenko-iryo-fukushi/fukushi_kaigo/chiikifukushi/saigai-shien/20180215144033.html

パークシティ金沢八景 周辺ハザードマップ

2022年10月5日

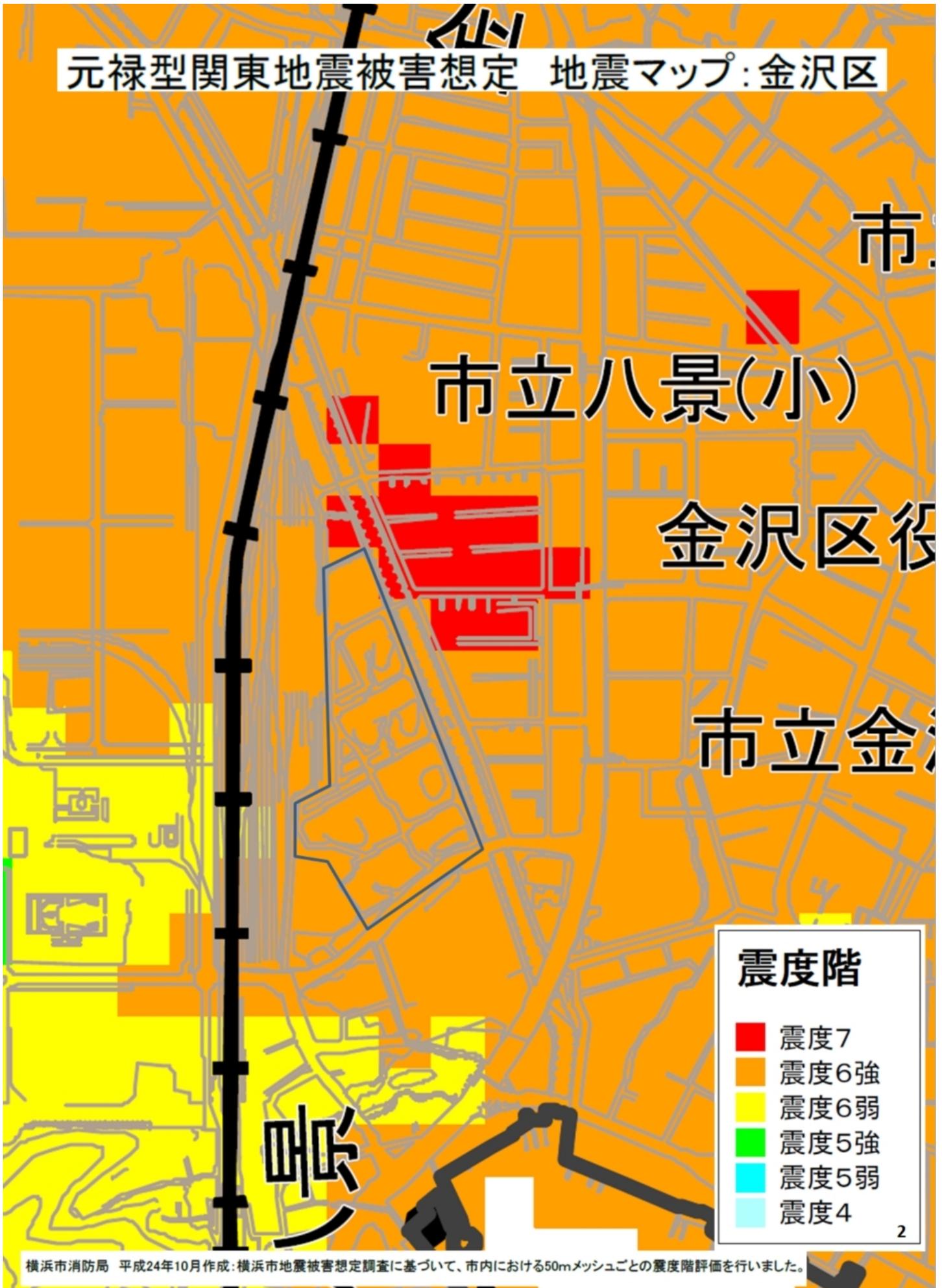
- 地震被害想定（元禄型関東地震） p. 6 2
平成 24 年 10 月
- 液状化（元禄型関東地震） p. 6 3
平成 24 年 10 月
- 津波浸水想定（5つの地震による） p. 6 4
平成 27 年 3 月
- 洪水浸水想定 令和 3 年 6 月公開 p. 6 5
- 内水浸水想定 令和 3 年 4 月 p. 6 6
- 高潮浸水想定 令和 3 年 6 月公開 p. 6 7
- 土砂災害 令和 2 年 4 月 p. 6 8

わがまちハザードマップ：

<https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/index.html?citycode=14100>

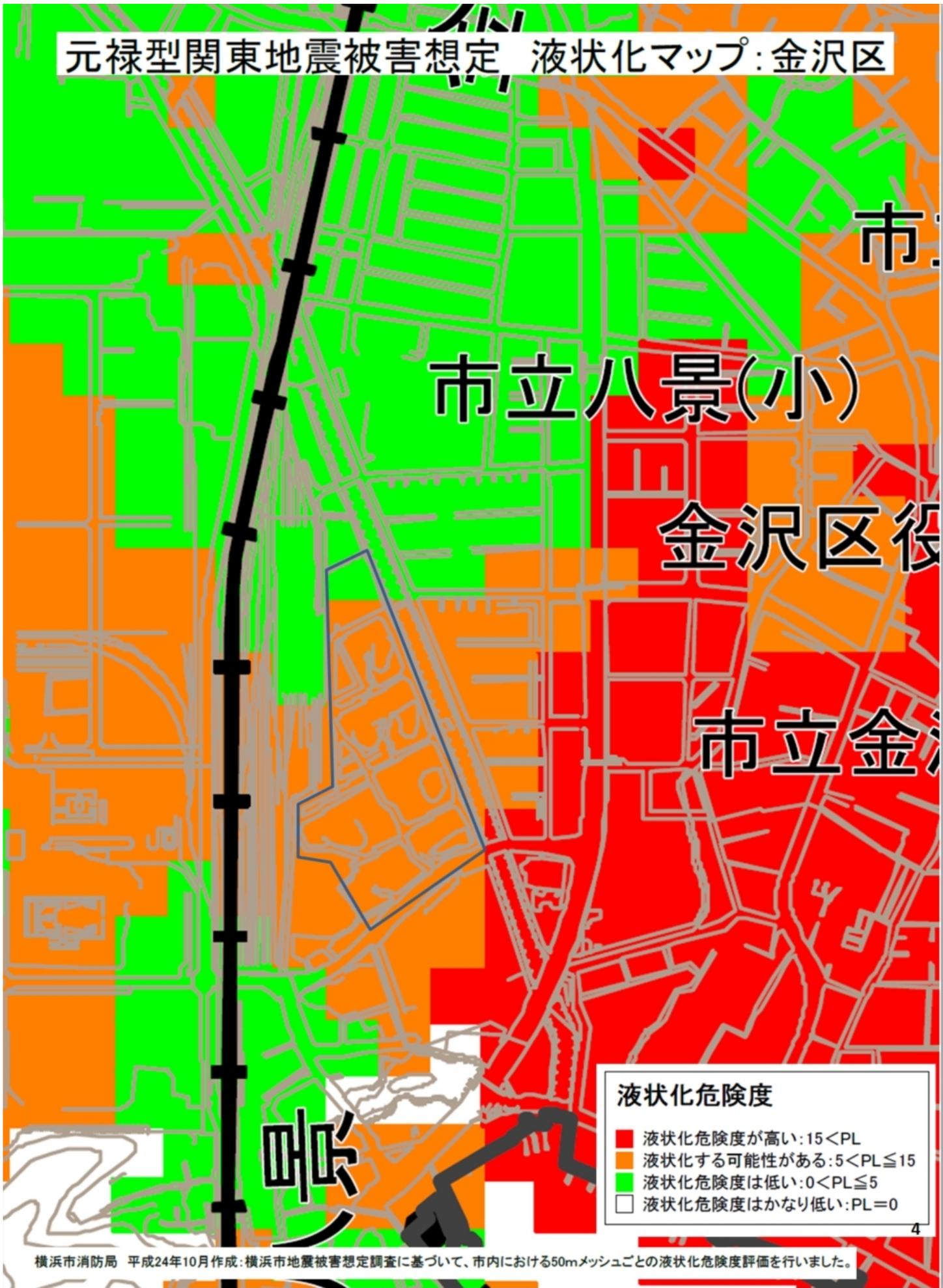
を元に作成し、横浜市総務局地域防災課及び環境創造局下水道事業マネジメント課の了承を得ている。

元禄型関東地震被害想定 地震マップ:金沢区

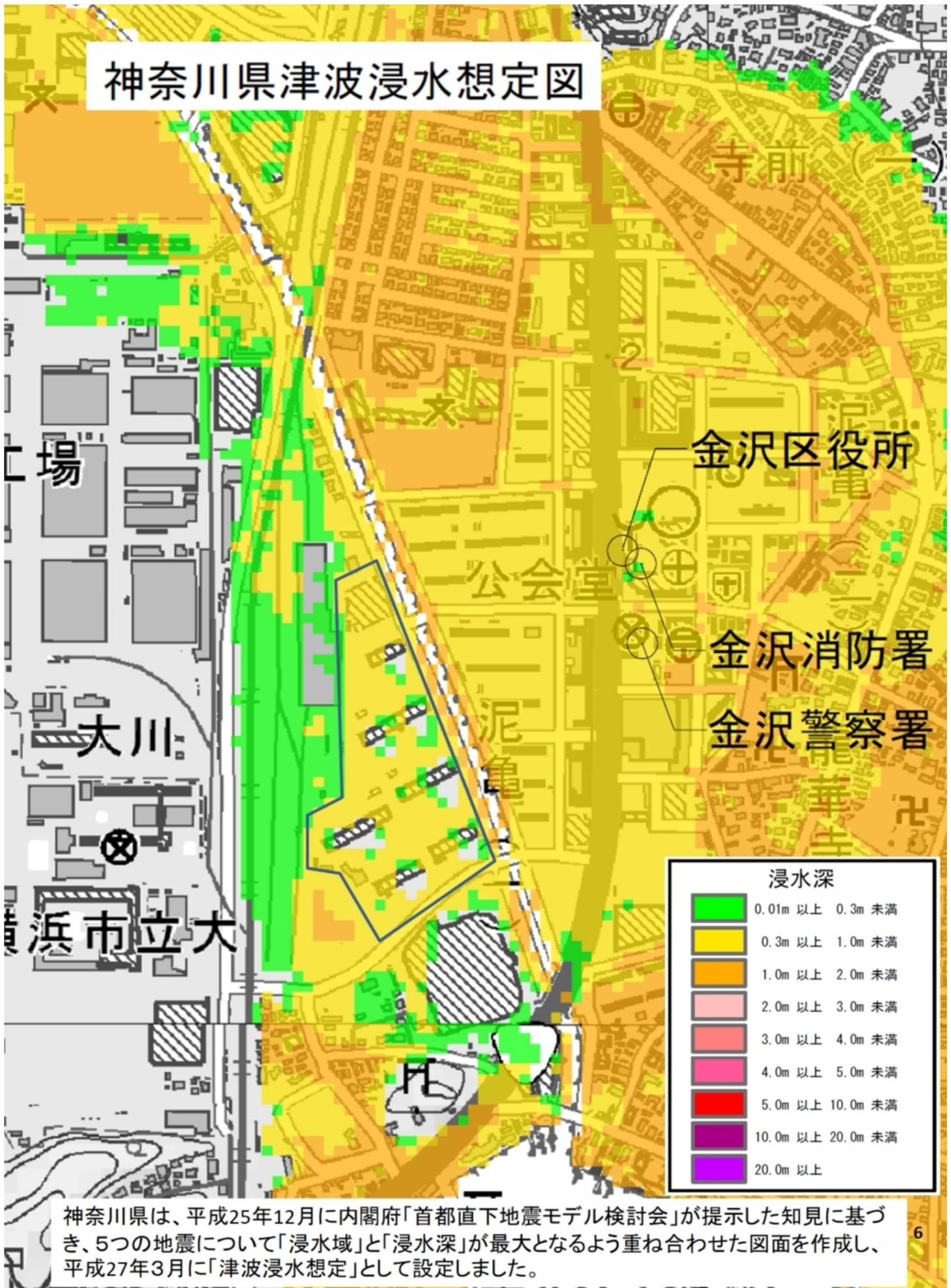


横浜市消防局 平成24年10月作成:横浜市地震被害想定調査に基づいて、市内における50mメッシュごとの震度階評価を行いました。

元禄型関東地震被害想定 液状化マップ:金沢区



神奈川県津波浸水想定図



金沢区洪水ハザードマップ

洪水浸水想定区域(想定最大規模※)

宮川水系河川：宮川 侍従川水系河川：侍従川



10.0~20.0m未満

※金沢区内では、該当エリアはございません。

5.0~10.0m未満

※金沢区内では、該当エリアはございません。

3.0~5.0m未満 2階部分まで浸水する深さ

0.5~3.0m未満 1階天井をこえて浸水する深さ

0.0~0.5m未満 おとなの膝まで浸かる深さ

● 想定条件 ●

宮川水系：24時間で317mmの降雨

侍従川水系：24時間で319mmの降雨

金沢区内水ハザードマップ

内水浸水想定区域(想定最大規模)



● 想定条件 ●
 1時間で
 153mmの降雨
 想定最大規模降雨



横浜市環境創造局 金沢区内水浸水想定区域 (令和3年4月)

金沢区高潮ハザードマップ

高潮浸水想定区域(想定最大規模※)

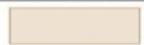


金沢区土砂災害ハザードマップ

令和2年4月発行

(土砂災害警戒区域 2019年12月20日 告示時点 土砂災害特別警戒区域 2019年12月20日 告示時点)
(急傾斜地崩壊危険区域 2019年12月末時点)



凡 例	
	土砂災害警戒区域(急傾斜地)
	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
	土砂災害警戒区域(土石流)
	土砂災害特別警戒区域(土石流)
	急傾斜地崩壊危険区域 ※ 急傾斜地の崩壊を防止するため、 神奈川県が対策施設の設置工事を することができる区域